

# 「これからの公共施設に関する市民懇談会」を開催しました。

平成 28 年 11 月 25 日から 12 月 17 日にかけて、各地区行政センター（全 13 か所）で「これからの公共施設に関する市民懇談会」を開催しました。

公共施設の現状や課題、今後の方向性など全体的な考えを共有するため、公共施設のこれからのあり方について市民の皆様と一緒に考えていくスタートと位置づけ、計 252 名の方にご参加いただきました。

公共施設に関する、市民懇談会での主なご意見・アンケートの内容について、市民の皆様にお伝えします。

年月日		会 場	参加者数
平成 28 年 11 月 25 日	金	加治東地区行政センター	20 人
12 月 3 日	土	双柳地区行政センター	12 人
12 月 3 日	土	富士見地区行政センター	11 人
12 月 6 日	火	東吾野地区行政センター	15 人
12 月 7 日	水	精明地区行政センター	16 人
12 月 8 日	木	飯能中央地区行政センター	12 人
12 月 10 日	土	第二区地区行政センター	33 人
12 月 10 日	土	南高麗地区行政センター	20 人
12 月 10 日	土	美杉台地区行政センター	13 人
12 月 15 日	木	吾野地区行政センター	32 人
12 月 17 日	土	名栗地区行政センター	26 人
12 月 17 日	土	原市場地区行政センター	26 人
12 月 17 日	土	加治地区行政センター	16 人
計			252 人

## これからの公共施設に関する市民懇談会

本格的な『人口減少・少子高齢社会』の到来  
《次世代に最適な公共施設等を引き継ぐために》

- 第1章 公共施設等の老朽化問題
- 第2章 本市の状況(公共施設・人口・財政)
- 第3章 市民アンケートの結果
- 第4章 まとめ

## ご意見・アンケートの内容

市の問題として、このまま放置すれば老朽化が進み、崩壊を招くことになると思感した。早急に課題解決に向かう必要があると思った。

人口減少等による公共施設の適正化は難しいと思うが、高齢者対応、教育的問題を含め、管理費・人件費削減のためにも実践してほしい。

今後の人口構成を考えれば、集約化、スリム化、複合化は避けて通れない。ただ、地域が広い特性を考慮すると、地域の拠点となる施設は守ってほしい。

地区行政センターは地域活動の拠点施設である。必要性の高い公共施設は維持管理して残していくべきである。



各地区にひと通りの施設の配置ではなく、広域的な施設配置をしていかなければいけないと思った。

公共施設マネジメントについて、今後、民間活用も必要になってくると思う。

地区行政センターを小学校に入れるなど、施設の積極的な利用方法を検討してほしい。

稼働率を参考にして地区行政センターの耐震化を優先的に行ってほしい。

公共施設の耐用年数は、建設時から分かっていたことなのに、なぜ今になって公共施設問題が出されているのか。

今後、施設の利用については受益者負担を検討してはいかがでしょうか。

貴重なご意見をありがとうございました。

これらの意見を踏まえ、「飯能市公共施設等総合管理計画(素案)」をまとめ、2/20(月)～3/3(金)の間、下記の施設で公表しています。

### ■公表場所

市政資料コーナー、飯能駅サービスコーナー、市民活動センター、各地区行政センター（13か所）、総合福祉センター、市立図書館、郷土館